

**毛利栄子**議員の2月県議会での質問と答弁の要旨を紹介します。一般質問、答弁の全文はホームページの**議会の様子**から、質問の動画は右のQRコードよりご覧いただけます。



## \* 放課後等デイサービス利用における障がい児支援の充実について

**毛利** 子どもの最善の利益の保障と健全な育成を図ることを目的にスタートした事業だが、子どもへの心理的虐待にあたる事例が報道されたり、質の問題が課題となってきた。多数の事業所は試行錯誤しながら最大限の努力を重ねていると承知はしている。長野県の放課後等デイサービス事業所の実態はどうなっているのか。課題について伺う。

**健康福祉部長** 多くの事業所では適切なサービスが提供されていると考えるが、一部の事業所では個別支援計画を適切に作成したり見直したりしていない事例、支援内容が安全な預かりや学習支援等に偏る等、生活能力や社会性の向上の支援が不十分な事例等が立地指導で散見されており、こうした点は課題であると認識している。

**毛利** 事業を運営するためには利用者の最低定員は1日10人が必要だが、町村部では必要性があっても確保が難しい。県としての対応策について伺う。

**健康福祉部長** 来年度策定する第3期障害児福祉計画において、小規模町村におけるサービス提供体制を含め、きめ細やかな対応がされるよう、市町村と共に検討をしていく。

**毛利** 質の高い支援の為に、事業所と学校での連携が必要だが、なかなか難しいとの声も聞く。こうした状況も踏まえ、県としての対応策を伺う。

**健康福祉部長** 学校との連携は重要で、連携に取り組む事業者は加算を算定できるが、まだ活用が少ない状況だ。教育委員会と協力して学校と事業所の連携強化に対応していく。

## \* 教育費の保護者負担の軽減について

**毛利** 入学時のランドセルや制服などの他、入学以降様々な学習用品を購入する必要があるが、保護者にとって非常に大きな負担になっていると聞かすが、そのようないわゆる「隠れ教育費」の実態を把握すべきと考えるがいかがか。

**教育長** 購入については各家庭の判断に委ねており、県教委としてその経費を調査・把握することは、家庭事情にまで踏み入ることになるため、難しいと考えている。

**毛利** 県教委では高校入学時にBYODによるタブレット端末の所持を求めているが、物価高騰等で経済状況が苦しい家庭もある。貸与や一部補助等の対応や検討はされたのか。

**教育長** 公費端末の貸与も検討したがあくまで学習の道具として貸与する為、目的外のアプリダウンロードや動画視聴等の使用は制限せざるを得ない。生徒が日常生活で自由に使えるようにする中で学習にも活用できるようにしたいと判断しBYODとした。

### 質問を終えて

国の調査では教育費の支援・軽減を求める声が7割とトップを占めています。高校入学時に6~7万もするタブレットを買わせるのではなく公費での貸与を求めました。引き続き求めていきます。

